



平成 22 年 3 月 25 日

各 位

会社名 テ ラ 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役社長 矢崎 雄一郎  
(コード番号：2191)  
問合せ先 取締役管理本部長 山本 龍平  
T E L 0 3 - 6 2 7 2 - 6 4 7 7

## 松本歯科大学病院との新規提携契約を締結

当社（東京都千代田区、代表取締役社長：矢崎 雄一郎、資本金：4 億 634 万円）は、松本歯科大学病院（長野県塩尻市、病院長：宮沢 裕夫）に対して樹状細胞ワクチン療法<sup>※1</sup>を中心とする当社独自のがん治療技術・ノウハウ「アイマックスがん治療（免疫最大化がん治療：Immune maximizing therapy for cancer）」を提供することを内容とする提携契約を本日締結しました。本件により、長野県における提携契約は、国立大学法人 信州大学医学部附属病院（平成 20 年 7 月締結）に続いて、2ヶ所目となりました。

今後は、信州大学医学部附属病院および松本歯科大学病院との相互連携を図り、地域の方々に日常生活圏での質の高いがん治療を提供してまいります。

「アイマックスがん治療」とは、樹状細胞ワクチン療法を中心として、これに化学療法（メトロノーム化学療法<sup>※2</sup>）および放射線療法（低侵襲放射線療法<sup>※3</sup>）等を組み合わせることで、患者の免疫機能を最適化・最大化させて効率よくがんを攻撃することを目指す、当社独自のがん治療技術・ノウハウです。

なお、今回の新規提携契約は、「マイルストーン開示に係る事業計画」（平成22年12月期～平成24年12月期）で公表している契約医療機関の開拓計画（信越地区5月）に基づき、契約締結を行うものでありますが、業績への影響は軽微であります。

以 上

※1：樹状細胞ワクチン療法

本来、血液中に数少ない樹状細胞（体内に侵入した異物を攻撃する役割を持つリンパ球に対して、攻撃指令を与える司令塔のような細胞）を体外で大量に培養し、患者のがん組織や人工的に作製したがんの特徴を持つ物質（がん抗原）の特徴を認識させて体内に戻すことで、樹状細胞からリンパ球にがんの特徴を伝達し、そのリンパ球ががん細胞のみを狙って攻撃する新しいがん免疫療法。いわゆる「がんワクチン療法」のひとつであり、自己の細胞を用いるため、副作用はほとんどないと言われています。

※2：メトロノーム化学療法

メトロノーム化学療法（低用量抗がん剤療法）は、低用量（副作用のほとんど出ない量）の抗がん剤（化学療法）を継続的に服用し、主として腫瘍血管新生を抑制することにより進行がん・末期がんの患者様の延命をはかる体に優しいがん治療です。負の免疫を抑制することにより抗がん免疫を増強するという報告もあります。

※3：低侵襲放射線療法

IMRT（強度変調放射線治療：専用のコンピュータを用いて、複数のビームを組み合わせて放射線に強弱をつけることで、高い精度でがんの部分だけに集中して照射する方法）専用の放射線装置を用いることで、がん細胞のみを攻撃する放射線療法。がん細胞の周囲にある正常細胞を傷つけることが少ないため、体への負担が少なく（低侵襲）、免疫力を下げない療法と言われています。